

令和3年度 一般会計・特別会計決算の状況

[単位：円]

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	19,441,861,047	18,524,671,800	917,189,247
特別会計	8,169,381,497	7,889,702,125	279,679,372
国民健康保険	3,708,621,336	3,653,624,203	54,997,133
介護保険	4,015,232,191	3,820,444,542	194,787,649
後期高齢者医療	445,527,970	415,633,380	29,894,590
合計	27,611,242,544	26,414,373,925	1,196,868,619

を中心に、初めて訪問する7社を含めた14企業を訪問し、（仮称）白石中央スマートインターチェンジや工業団地における、本市の位置の優位性や優遇措置などについて説明を行なった。

今後このような機会を積み重ね、企業誘致につなげていきたいと考える。

令和3年度 企業会計決算の収支状況

(消費税相当額を含む) [単位：円]

会計名	収益的収入	収益的支出
水道事業	933,530,126	828,067,762
下水道事業	1,065,918,596	1,014,335,000

会計名	資本的収入	資本的支出
水道事業	90,068,106	324,972,097
下水道事業	419,491,460	833,909,961

教育費

〔質疑〕令和3年4月から第一幼稚園を休園し、第二幼稚園のみとして1年6カ月が経過した。

この幼稚園運営について、どのように評価しているか伺う。

〔答弁〕令和4年5月1日現在、第二幼稚園の在園児数は63人で、令和2年5月1日現在の第一、第二幼稚園の合計園児数95人から比較すると、3分の2の園児数となっている。

定員140人に対する充足率は45%となっているが、これは、少子化の進行に加え、保育所の待機児童問題が解消していることが要因と考える。

1園になってきたこととして、給食の提供、平日の預かり保育時間の延長、長期休業中の預かり保育の実施がある。また、A・L・Tの派遣については、以前より拡充して行なっている。

〔質疑〕小原小・中学校と福岡中学校は、スパシユランドしろいしを利用し水泳の授業を行なってきたが、本年3月の福島県沖地震の影響で、スパシユランドしろいしのプールは現在も利用できない状況にある。

今後について、どのように考えているのか伺う。

〔答弁〕スパシユランドしろいしは、開館から30年が経過し、年々修繕費用がかさんでいるところ、本年3月の地震

でプールの天井に大きな被害を受けた。修繕を行う場合、現在の法規制に従い耐震改修を行う必要があり、多額の費用を要することから再開のめどは立っていない。

当施設は各種水泳大会や合宿での利用も多く、市民の健康増進施設として営業継続の可能性を探り、国の補助金の活用や民間企業による事業継続など、あらゆる方策を模索してきた。しかし、現時点では進展がないことから、これまでの方針どおり、令和4年度末での休館も検討せざるを得ないと考えている。

今後の市民プールや小・中学校プールの在り方については、市関係各部署による検討委員会等において検討を進めていく。

新型コロナウイルス対策事業

〔質疑〕宿泊事業者応援事業宿泊割引キャンペーンについて、どのくらいの方が利用し

たのか伺う。

〔答弁〕宿泊割引キャンペーンは、観光需要を喚起し、間接的に事業者を支援する事業として、令和3年11月1日から令和4年2月28日までの間、東北6県在住者を対象に実施したものである。

利用者は延べ1千904人で、市内在住の方が9.5%、本市以外の県内の方が39.4%と、およそ半分以上が宮城県内の方であった。

この結果から、マイクロツーリズム（近隣への宿泊観光や日帰り観光）が注目されているということが分かった。

特別会計

〔質疑〕在宅高齢者福祉制度の配食サービス事業について、委託の内容と課題を伺う。

〔答弁〕本市の配食サービス事業は白石陽光園グループの桜花に委託しており、令和3年度までは配達部門をシルバー人材センターが行なつて